



週間情報



No.0612

発行日 令和6年3月26日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-3234-1321

両会の動き

◆ 令和6年能登半島地震への支援

全国消防長会

令和6年1月1日（月）に発生した「令和6年能登半島地震」に際し、過酷な状況下で災害活動に従事した消防職員への支援として、第一生命保険株式会社から全国消防長会に寄附の申し出があり、受領しました。

本会では、この支援に併せ、一般財団法人全国消防協会と全国消防保険サービス株式会社と三団体連名の支援金とともに、去る令和6年2月6日（火）東京都で開催した常任理事会に先立ち、吉田会長から蔵・石川県消防長会会長（金沢市消防局長）に贈呈しました。

また、令和6年3月18日（月）、第一生命保険株式会社・柏崎執行役員に対し、吉田事務総長から感謝状を伝達しました。

改めて、消防職員が多くの業種の方々に支えられていることを認識するとともに、引き続き被災地の支援と消防行政の推進に努めてまいります。



【支援金贈呈後の撮影】



【感謝状伝達後の撮影】

消防本部の動き

訓 練

◆ 多数傷病者事故を想定した救急演習を実施

埼玉県央広域消防本部（埼玉）

埼玉県央広域消防本部では、令和6年3月6日（水）、鴻巣消防署において、多数傷病者事故を想定した救急演習を実施しました。

当日は、約70人の職員が参加し、バスを含む多重衝突事故を想定して、限られた人員・資器材の中で各隊が連携した活動を行い、トリアージ、処置、搬送などに関する効率的な現場対応力の強化を図ることができました。

今後も、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【救急演習の様子】

◆ 津島警察署と合同震災勉強会を実施

津島市消防本部（愛知）

津島市消防本部では、令和6年3月11日（月）、津島警察署と合同震災勉強会を実施しました。

この勉強会は、東日本大震災を教訓として、大規模災害時における活動要領について同警察署と共有し、連携体制の強化と地域の被害軽減を図ることを目的として実施したものです。

当日は、大規模災害時の協力体制について共有したほか、「地震により建物が倒壊し、要救助者が発生した。」との想定で、倒壊家屋内から要救助者を救出しました。

今後も、地域住民を守るという共通の使命のもと、同警察署と連携・協力してまいります。



【勉強会の様子】

研 修

◆ 防火対象物違反是正研修会を実施

若狭消防組合消防本部（福井）

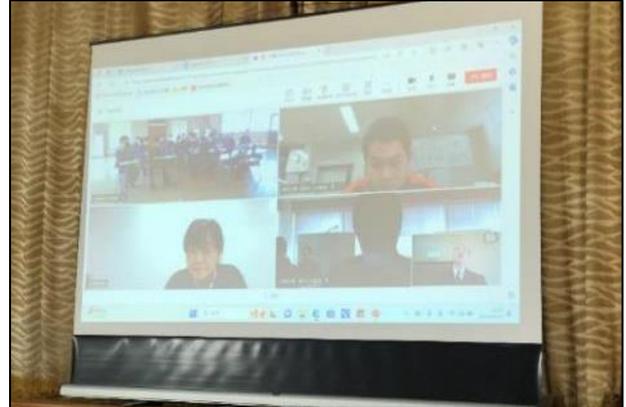
若狭消防組合消防本部では、令和6年3月8日（金）、防火対象物違反是正研修会を実施しました。

この研修会は、違反是正の重要性を再認識することを目的として実施したものです。

当日は、一般財団法人日本消防設備安全センター違反是正支援センターの宇津澤次長を講師とし、「防火対象物の違反是正について」と題して、オンラインでご講義いただきました。

また、当研修会の事例検討会を行い、違反是正に対する考え方や知識を深めることができました。

参加者から、「今回の講義を業務に生かし、違反対象物ゼロを目指すとともに、地域住民の安全・安心の確保に努めていきたい。」と力強い言葉を聞くことができました。



【研修会の様子】

◆ 惨事ストレスに関するメンタルヘルス研修を実施

海部南部消防組合消防本部（愛知）

海部南部消防組合消防本部では、令和6年3月8日（金）、惨事ストレスに関するメンタルヘルス研修を実施しました。

この研修は、令和6年能登半島地震に際し緊急消防援助隊として被災地に派遣された職員と、災害現場で活動する職員を対象として、惨事ストレスに関する基礎知識と対策法について学ぶことを目的として実施したものです。

当日は、株式会社インソースの平野清氏を講師にお招きし、「メンタルヘルス研修 惨事ストレスに備える編」と題してご講義いただき、「惨事ストレスの反応は、誰にでも起こり得る心の正常な反応である。」ということに参加者間で共有しました。

また、「同僚の変化に気付くこと」、「お互いを頼り・頼られるスキルやマインドを身につけること」、「ポジティブな言葉を使い、相談しやすい職場風土を醸造すること」の重要性について学ぶことができました。



【研修の様子】

その他

◆ 消防局長特別点検を実施

埼玉県南西部消防局（埼玉）

埼玉県南西部消防局では、令和6年3月7日（木）、春季全国火災予防運動の一環として、管内にある大型商業施設において、消防局長特別点検を実施しました。

当日は、共用部の避難施設を含む消防用設備等の設置状況や防火設備の維持管理状況などを点検し、関係者との顔が見える関係性を築くとともに、火災予防思想の普及を図ることができました。

今後も、地域の安全・安心のため、防火防災管理に対する取り組みを継続してまいります。



【特別点検の様子】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

津幡町消防本部（石川）

津幡町消防本部では、令和6年3月8日（金）、消防協力者に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年11月9日（木）、管内の専門学校内で心肺停止となった教員に対して、学生と教員が連携し、119番通報、心肺蘇生、AEDを活用した除細動を行い、救急車で呼吸と脈拍が回復したものです。

心肺停止となった教員は、医療機関で治療後に社会復帰し、現在は教壇に立っています。

消防協力者の適切な救命処置と救命の連鎖により、尊い命が救われました。

また、同日に高規格救急自動車の運用開始式を実施しました。

この車両は、13年ぶりに更新されたもので、視認性向上のため「アクティブコーン」、「ブラインド型車両掲載情報板」、「高機能反射材」を取り入れたほか、感染症対策のため運転席と後部座席とを隔てる「隔壁扉」を設けるなど新機能を搭載しました。

今後も、救急隊員のレベルアップを図り、安全・確実・迅速な現場活動を実施してまいります。



【感謝状贈呈後の記念撮影】



【運用開始式の様子】

◆ 住宅用火災警報器の設置推進PR活動を実施

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和6年3月2日（土）、春季全国火災予防運動の一環として、管内のショッピングモールにおいて、住宅用火災警報器の設置推進PR活動を実施しました。

また、防火意識の高揚を図ることを目的として、管内の小学生から「防火習字」を募集し、火災予防期間中、管内のショッピングセンターなどに展示しました。

当日は、来場者に火災予防のパンフレットを配布するとともに、同警報器の設置について広報活動を実施しました。

今後も火災予防の啓発活動を継続し、同警報器の設置率向上とその適正な維持管理を広報してまいります。



【PR活動の様子】

◆ 防災イベント「春の消防広場」を開催

長野市消防局（長野）

長野市消防局では、令和6年3月2日（土）、春季全国火災予防運動の一環として、アップルライナーガーデンにおいて、防災イベント「春の消防広場」を開催しました。

このイベントは、火災予防と地域防災の重要性について普及啓発することを目的として開催したものです。

当日は、約2,000人が来場し、各種消防車両の展示ブース、救助訓練の体験ブース、緊急消防援助隊の紹介ブースなどを設けたほか、全国统一防火標語のキーワードを探して消防グッズをゲットできるサインラリーを実施しました。

今後も、「備えることの大切さ」について周知してまいります。



【防災イベントの様子】

◆ 保育園と合同防火演奏会を実施

田川地区消防本部（福岡）

田川地区消防本部では、令和6年3月4日（月）、春季全国火災予防運動の一環として、管内の道の駅において、弓削田保育所、ぎんなん保育園と合同防火演奏会を実施しました。

この演奏会は、幼年期からの防火意識の育成と火災予防について広報することを目的として実施したものです。

当日は、園児たちが演奏と合唱を披露した後、防火の誓いを宣言しました。

また、田川地区防災協会と婦人防火委員会にご協力いただき、来場者に火災予防啓発のリーフレットを配布したほか、消防車両を展示しました。

今後も、火災予防の啓発活動を継続してまいります。



【演奏会の様子】



【火災予防啓発活動の様子】

◆ 幼稚園児と火災予防啓発活動を実施

白河地方広域市町村圏消防本部（福島）

白河地方広域市町村圏消防本部では、令和6年3月5日（火）、春季全国火災予防運動の一環として、新白河駅にご協力いただき、管内の幼稚園児と火災予防啓発活動を実施しました。

当日は、当消防本部の職員とともにミニ防火衣や法被を着装した園児たちが、駅利用者にポケットティッシュを配布したほか、住宅用火災警報器の設置・取替えについて啓発活動を実施し、駅利用者は熱心に耳を傾けていました。



【火災予防啓発活動の様子】

◆ 実業団チームと火災予防啓発を実施

尾三消防本部（愛知）

尾三消防本部では、令和6年3月4日（月）、5日（火）の2日間、春季全国火災予防運動の一環として、管内の認定こども園と商業施設において、日本代表選手が所属する実業団チームである株式会社デンソーのボート部を「火災予防広報隊」に委嘱し、火災予防啓発を実施しました。

当日は、認定こども園において、幼年消防クラブ員が全長12メートルのボートに搭乗したほか、同クラブ員の保護者に家庭における火災予防について広報しました。

また、商業施設において、ボート部の選手と商業施設の関係者が消火訓練を行った後、来場者に火災予防パンフレットを配布しました。



【クラブ員との記念撮影】



【消火訓練の様子】

◆ 道後温泉街において火災防ぎょ訓練を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和6年3月7日（木）、道後温泉街において、医療的ケア児を含むハンディキャップをお持ちの方やそのご家族、市内在住の外国人にご参加いただき、火災防ぎょ訓練を実施しました。

当日は、聴覚にハンディキャップをお持ちの方に当消防局の職員が手話で避難誘導を実施したほか、高齢者や妊婦の擬似体験セットを参加者が身に付け、避難体験をしていただきました。

今後も各種取り組みを継続し、多様な観光客に配慮した情報伝達、効果的な避難誘導、消防活動を実施して、「誰も取り残すことのない安全安心な湯の町」を目指してまいります。



【訓練の様子】

◆ 車両火災予防運動に伴う消火設備の取り扱い指導を実施

春日・大野城・那珂川消防組合消防本部（福岡）

春日・大野城・那珂川消防組合消防本部では、令和6年3月8日（金）、車両火災予防運動の一環として、移動式粉末消火設備が設置されている2か所の駐車場において、消火設備の取り扱い指導を実施しました。

当日は、同消火設備の操作手順について建物関係者に説明を行い、関係者から「操作方法を初めて知り、非常に参考になりました。」との声を聞くことができました。

また、泡消火設備の操作方法の動画を作成し、動画の二次元コードを付したリーフレットを関係対象物に送付し、火災予防の啓発活動を実施しました。

今後も、市民の安全・安心の確保のため、各種啓発活動を継続してまいります。



【移動式粉末消火設備を説明している様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 畜舎等に係る基準の特例の細目の一部を改正する件の公布について

（消防予第72号、令和6年3月13日）

消防庁次長から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

畜舎等に係る基準の特例の細目の一部を改正する件（令和6年消防庁告示第3号。）が令和6年3月13日に公布されました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/240313_yobo72.pdf) に掲載されています。

◆ 高規格救急自動車への電動ストレッチャー導入の取扱いについて

(事務連絡、令和6年3月15日)

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部(局)あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

高規格救急自動車の仕様については、平成18年に、財団法人日本消防設備安全センターが設置した「高規格救急自動車標準仕様検討委員会」による「高規格の救急自動車標準仕様検討報告書」

【別添1】において標準的な仕様のあり方が提案され、消防庁から周知を行いました。(別添1省略)

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/kyuuki_240315.pdf)に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁救急企画室

飯田救急専門官、白坂係長、辻野事務官

TEL : 03-5253-7529

E-mail : kyukyusuishin@soumu.go.jp

報道発表

◆ 畜舎等に係る基準の特例の細目の一部を改正する件(案)に対する意見公募の結果及び改正告示の公布

(令和6年3月13日、消防庁)

畜舎等に係る基準の特例の細目の一部を改正する件(案)の内容について、令和6年1月16日(火)から令和6年2月14日(水)までの間、意見を公募したところ、意見の提出はありませんでした。この結果を踏まえて、本日、「畜舎等に係る基準の特例の細目の一部を改正する件」を公布しましたのでお知らせします。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/240313_yobo.pdf)に掲載されています。

(事務連絡先)

消防庁予防課 米田課長補佐、田村

TEL 03-5253-7523 (直通)

MAIL yobo_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を

「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

情報提供

◆ 2024年度「全国統一防火標語」および防火ポスターについて

一般社団法人日本損害保険協会

一般社団法人日本損害保険協会では、防火・防災意識の向上を目的として、「全国統一防火標語」および防火ポスターによる啓発活動を行っています。

2024年度の全国統一防火標語は、「守りたい 未来があるから 火の用心」です。

また、女優の山崎玲奈さんをモデルに起用して、同標語を掲載した防火ポスター(後援：総務省消防庁)を約20万部製作しました。

製作したポスターは、総務省消防庁にご協力いただき、4月から、全国の消防署をはじめ公共機関などで1年間掲出されます。



【2024年度防火ポスター】

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0516）1ページ、機関誌「ほのお」2023年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石原

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 石原

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 岡崎

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。